

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

睦地域ケアプラザ

2 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

計画①地域の担い手が高齢化及び不足しており、地域の活性化が図りづらい現状があります。地域ケア会議で地域住民と課題共有しているものの主体的に地域活動に取りくむことが難しい状況が続いています。

報告①キャラバンメイトや介護予防サポーターにも地域ケア会議に参加して頂き、課題解決に向けての取り組みについて共有しました。

計画②高齢化率の上昇や単独世帯の増加に伴い、相談内容が複雑なケースが多くなっており継続的な支援が必要となっております。

報告②所内にて定期的なミーティングを行い、複雑なケースにも継続的に支援できるよう情報共有を行いました。些細なことも記録し、必要に応じて職員全員に回覧しました。

今年度の重点目標

計画①地域活動や活動に携わる方の後方支援を行い、新たな地域の担い手の増加を目指します。

計画②町内会館や地域の身近な場所を活用し、健康増進や介護予防に関する活動に取り組めます。

報告①②介護予防サポーターのメンバーとコーヒーマシンの淹れ方講座参加者が共に出張講座を行う等地域住民同士が支え合う活動に取り組む積極的な参加がありました

計画③介護者や相談者のサポートに繋ぐことを目的とし、介護者サロンや権利擁護事業を展開します。

報告③介護者のつどいを毎月開催を継続し、介護技術講座を行うことでより実践的な取り組みを行うことができました。

計画④エリア内外の関係機関と連携し、地域ケア会議の実施や事業の企画・運営を行います。

報告④認知症の方の見守りの実態を把握すべく地域のコンビニやスーパーを廻りケアプラザの役割を周知するとともにアンケートを行い地域会議での検討材料としました。

(1) 総合相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

計画①高齢者、障害児・者、児童分野からの多種多様な相談に応じることができるよう職員間の連携、情報の共有化、研修の受講、社会資源の把握等も継続して行います。

報告①各部署が連携し、介護予防や障害の理解講座を企画、運営を行い相談者に情報提供を行いました。

計画②広報紙やホームページ等を活用し、ケアプラザの相談機能についての説明や幅広い分野に対応した活動を行っていることを周知していきます。

計画③区社会福祉協議会、行政、関係機関との連携強化に努め、関係者間で協力しながら多様な相談に対応できるような体制づくりを構築していきます。

計画④関係団体との連携会議や地域活動の場に積極的に参加し「顔の見える関係作り」に努め、相談を受けやすい環境の構築を図ります。

報告②③④窓口に限らず、事業や地域の活動等様々な場面を通して、高齢分野から障害・子ども分野について、情報提供を行い必要に応じてその場で相談を受け付け対応しました。

(2) 各事業の連携

計画①地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援の専門性を活かした自主事業を企画・実施する等協働での取り組みを継続していきます。

報告①5職種が連携し子どもから障害者・高齢者までの事業を企画。地域住民にも担って頂くようコーディネートし実施しました。

計画②毎月各部門で合同会議を行い、計画的に事業や地域活動への参加ができるように調整していきます。

計画③各部門が把握している情報や課題等は部門間で共有し、協働で課題解決やニーズの把握に向けた取り組みを行います。

報告②③地域情報や事業については、朝ミーティングで報告。開催した事業に関しては職員会議でも報告、また報告書を回覧し全部署が共有しています。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

計画①地域ケアプラザ実施要綱に基づき、欠員なく職員配置を行います。

計画②職員育成の一環として毎月職員会議内で、研修受講した職員が講師役となり、振り返り研修を行います。

計画③職員の勤続年数や階層別に研修を計画し、新人職員から管理者まで幅広く受講できるように組み立て、人材の育成に繋げていきます。

報告①②③職員は欠員なく配置しました。各自チャレンジシートを作成し、職員の資質向上を図るため、具体的な目標設定をおこなっています。研修に参加しやすいようシフトを組み、報告書を作成・回覧。必要に応じて職員会議で伝達研修を行っています。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

計画①地域のネットワーク構築のため様々な会議（町内会長会議、地区社会福祉協議会会議、民生委員児童委員協議会、友愛活動推進員会議、地区別計画企画会議等）に参加し、顔の見える関係づくりや地域の情報収集に努めます。

報告①地域で開催される会議には、職員が適宜参加させて頂き、ケアプラザの活動の周知や包括ケアシステムについての説明をしました。

計画②様々な地域課題の共有化を目指すとともに地域ケア会議を開催し緩やかな地域の見守り活動の展開に繋がります。

報告②「堀睦を明るくする会」を今年度は実施することができませんでしたが、包括版の地域ケア会議に於いて、地域住民の方々から活発な意見を頂きました。

計画③地域の防災拠点会議や防災訓練に参加し防災を通じて地域との連携にも努め福祉避難所としての役割も周知していきます。

報告③町内会、防災拠点の防災訓練にも参加し防災を通じて地域の連携に努めました。

計画④地域住民が集う為の場所づくりとして、高齢者サロンの創設に向けた協議体の開催や子育てサロンや既存の高齢者サロンの後方支援を進めていきます。

報告④高齢者サロンの創設に向け、何度も協議の場を設けてまいりました。今後も具

体化に向け各関係機関と連携して実現を目指します。
計画⑤近隣の福祉施設と連携しお互いの役割の理解に努め、強みを活かし、協働しての活動のコーディネートや研修会を行います。
報告⑤更生施設と子ども食堂の後方支援、コミュニティハウスと子ども新年会を連携し開催しました。更生施設においては、今年度も共催にて認知症サポーター養成講座を開催しました。

(5) 区行政との協働

計画①第3期地域保健福祉計画や南区区政運営方針などに基づき、区及び区社会福祉協議会と地域の実情を踏まえた「まちづくり」に向けた連携を行います。
報告①南区役所地域振興課と「まるごとみなみ施設間連携事業」にて協働し、区内において他のケアプラザと合同でディスコを開催し、一緒の空間で活動することでの障がいの理解の啓発を行いました。
計画②自主事業の情報共有、運営にあたっての相談及び内容検討を行います。
報告②区役所の自主事業を共催することで事業をより良くするための提案や募集や告知などの協力を行いました。
計画③地域包括支援センターで関わる困難ケース等の個別支援は毎月の定例会で、支援の方向性を検討します。
報告③毎月1回地域包括支援センター・生活支援コーディネーターと定例カンフェレンスを開催し、ケースの検討や地域の情報・課題の共有を行いました。
計画④地域の見守りや集う場づくりを、区役所・区社会福祉協議会等関係機関と行います。
報告④NPO法人において区役所の「居場所づくり」事業を用いて様々な世代の方の居場所となるために拠点の改装と事業の開催を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

計画①新規事業は自主化への方向性を含めながら開催します。妊産婦から高齢者まで一緒に過ごせる場を作りながら地区資源の発掘と地域住民同士の交流を進めます。自主事業などを含め地域ニーズの聞き取りを行い、担当エリアでの福祉課題の解決のための事業を展開して行きます。
報告①コーヒーの淹れ方講座から地域のサロンなどで活躍出来る団体の形成を行いました。地域の協力もあり、30年度は毎週土曜日にケアプラザ付近で子どもの居場所を開催することができました。子ども食堂は、今では乳幼児を連れた親子から高齢者まで幅広く参加しており、異世代交流の場としても活動しています。
計画②活動人数が少ない団体に対し、メンバー増員に繋がる事業を展開し活動の維持と活性化を行います。団体同士の繋がりを支援することで交流を深めそれぞれの活動の活性化を計画します。
報告②時間の流れとともに発生するメンバーの減少に対し、類似する事業を展開し、興味を持った方への団体の紹介をすることで増員を図りました。
計画③地域住民へ障がいのある方への理解を深める啓発活動を継続し、障がいがあっても住みやすい街へ向けての活動を行います。
報告③蒔田地区において障がいの理解講座を開催しました。(8月に精神障がい、10月に知的・発達障がい)新たな作業所と地域が繋がることで分野の拡大を図ることが出来ました。
計画④地区社会福祉協議会との連携を図りながら、各連合の地域福祉保健計画の支援に繋がる事業や場づくりを行います。
報告④ケアプラザの自主事業の経験をもとに地域活動の支援を行いました。

計画⑤地域住民へ福祉課題の啓発を行い、解決に向けての活動に繋がる事業を展開します。

報告⑤課題に対してグラフなどを使い目に見える形での情報提供により地域住民へ課題意識や課題の解決が生まれるように準備を行ってきました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

計画①貸室利用の説明が適切にわかりやすく説明出来るように改訂していきます。

報告①30年度のマニュアル改訂を機会に再度、貸館説明と資料の作成を行いました。

計画②広報紙などを使い貸館利用のPRを行って行きます。

報告②広報紙の他、ホームページや声かけなど行い利用のPRを行いました。

計画③夜間や調理室の利用など利用率の少ない時間帯や部屋においては、関係団体の誘致などを行い稼働していきます。

報告③夜間に活動する団体の形成のために繋がりを作り、準備してきました。

次年度には、自主事業からの団体形成を行います。

計画④継続して参加者が集まれるように団体メンバー募集の告知を行い、活性化と維持して行きます。

報告④コミュニケーションボードを使い事業が活性化するようにメンバーの募集を引き続き行って行きます。

計画⑤連合町内会組織内の機能していない福祉保健活動団体に組織のメンバー同士が顔見知りとなる機会を設け、組織の活性化へ繋げて行きます。

報告⑤定例会開催の提案などを引き続き行って行きます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

計画①福祉課題を周知する機会を設け、課題解決に対して活動意欲のある方を中心とした活動へ繋げて行きます。

報告①会話のなかから活動意欲のある方を見つけだし、具体的な活動を伝えることで、ボランティアへ結びつけています。

計画②自主事業などであらかじめ自主化を前提とした内容で募集を行い、自主活動後の支援をして行きます。

報告②自主的に活動することを前提に募集することで、団体形成やボランティア活動へ結びつくことに繋がりました。

計画③すでにボランティアとして活動している人の課題解決に結び付くように関係機関などと協力して行きます。

報告③ボランティアセンターなどからのマッチングが出来ない方の相談を受けた際は活動を創り出すところから行い、ボランティアに結び付けました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

計画①担当エリア内外で実施されている行事に参加、関係機関との情報交換を通じて把握した地域課題について、職種会議等を利用し共有化を図ります。

報告①毎月の定例会議にて共有化を行っています。

計画②得た情報から地域課題や地域ニーズを分析し、必要とされる事業の開催などを含め活用して行きます。

報告②地域からの情報を得るためのアンケート活動を行いました。そこから見えてくる課題をもとに自主事業へ反映しています。

計画③ケアプラザの広報紙やホームページ掲載・町内会の掲示板など利用し情報が必要な方へ届くようにして行きます。

報告③堀睦・蒔田地区へ掲示依頼、広報紙を回覧依頼を行うことで、事業の募集を行いました。

計画④地域の企画会議などで得た情報をもとに、より良い活動となるような支援を行

って行きます。
報告④企画会議において内容にケアプラザでの経験をもとに提案・支援を行いました。
共催での開催にも繋がりました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

計画①認知症及び高齢者を、地域で支える仕組みづくりを目的とした講座を企画、開催します。

報告①地域包括支援センターと連携し、認知症キャラバンメイト「睦オレンジ」の後方支援を行いました。子ども・保護者に対しても早い段階で地域・高齢者へ関心をもってもらえるよう、小学生を対象とした講座を組み立て「認知症キッズサポーター養成講座」を2回開催、小学生42名が受講しました。

計画②認知症の普及、啓発と、認知症及び高齢者の居場所づくり、その活動に繋がる支援者を育成します。

計画③支援者や担い手の地域での活動実践に向けて、スキルアップを目的とした勉強会や研修を実施します。

報告②③

- ・認知症予防および脳の活性化を目的とした「スリーA」の考え方を学ぶ「スマイルの会」を地域包括支援センターと毎月開催しました。年度初めには、担い手のスキルアップと活動普及を目的とした「スリーA支援者研修会」を開催。下半期には「スマイルの会」として出張講座を2回実施し、地域の高齢者が気軽に楽しく参加できる場づくり・認知症予防ゲームの体験活動を行いました。
- ・シニア世代男性の活躍の場・活動の機会づくりを目的とした自主事業「男性の料理教教室」を地域活動交流との共催で定期開催しました。6名の参加者で自主団体化・地域活動の実施について検討をし、1月に衛生講習会の実施、2月には地域食堂の試行開催につながりました。

計画④誰でも集える地域の「交流の場」「集いの場」づくりで、活躍できる担い手育成に向けて、地域の多様な活動を地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援で連携・協力し、後方支援をします。

報告④年度途中で生活支援コーディネーターが交代したため、他職種の協力の下、地域の多様な活動の場・人との関係性づくりに注力しました。また新たに集いの場を立ち上げたいという住民からの相談を受け、地域包括支援センター地域活動交流と連携をし、実現に向けて後方支援を行っています。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

計画①「住民支え合いマップづくり」や「地区懇談会」「地域ケア会議」「地域の座談会」などの開催を通して、地域課題や生活ニーズを把握、共有し、解決方法について地域住民と専門職で一緒に考えていきます。

報告①地域ケア会議およびケアプラザ内外の会議への出席を通して、地域の全体的な生活ニーズを把握・共有することに努めました。

計画②老人クラブや町内会、地区社会福祉協議会や、地域住民が主体となって活動している「集いの場」や「助け合い」などの情報を整理し、活動の拡大や、新たに必要な活動への基盤づくりに地域と一緒に取り組みます。

報告②貸館団体をはじめ、地域介護情報データ「ayamu」に掲載されている団体は訪問などで把握・情報整理するように努めました。また連合町内会・地区社協企画委員会議に出席する等、地域の動向把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

計画①地域の生活ニーズや課題解決に向けて、共通意識や情報の共有を図るため話し合いの場や機会を設けます。また、地域課題に応じボランティアや地域の活動団体と連携し、資源の開発や調整のための話し合いを行い、活動の取り組みへ繋がります。

報告①地域ケア会議の結果を受け、地域の店舗を含めた高齢者の見守り体制構築に向けて、店舗に対してアンケート実施・ケアプラザの周知等の取り組みを行いました。また必要に応じて地域住民・活動団体と情報共有を行い意見交換を行いました。

計画②住民主体の多様な活動により、住民同士で支え合う地域力を育み、年齢や心身の状況等によらず、生きがいや役割をもって生活できる地域を、地域住民、地域包括支援センター、地域活動交流と共に目指して取り組みます。また、地域の支え合いの仕組みづくりのため、基盤となるネットワークの構築を図ります。

報告②他職種と連携し、住民主体の活動に対して広報支援・情報提供などの後方支援を行いました。また、新たに「子ども新年会」を企画実施し、児童と高齢者がお互いに関わり合うことを目的として、地域の活動団体・睦コミュニティハウスと協働し実施しました。

計画③高齢者の生活機能の維持と向上を目的とした地域の活動の場や機会を、地域包括、地域交流、地域住民と協力・連携し構築します。また、高齢者の健康づくりの場への参加促進へ向けた取り組みを地域包括支援センターと連携して行います。

報告③他職種と連携をし、堀ノ内地区での介護予防出張講座の実施と高齢者サロンの立ち上げ支援に取り組んでいます。また地域の活動情報や介護予防教室などは、地域の食事会・老人会や元気づくりステーション開催時に周知するなど、高齢者の健康づくりの参加促進にむけて取り組みました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

計画①高齢者の日常生活で不便に感じていることや家事負担の軽減など、生活支援に繋がるアイデアや情報を整理し、分かりやすく発信して行きます。

計画②住み慣れた場所で送る日常生活の自立を支える活動やサポートができる仕組みを、地域と一緒に考え、整備して行きます。

報告①②毎月の連絡会を通じて、南区・区社協・区内の生活支援コーディネーターと具体的な取り組みや事業について意見交換を行いました。またプロジェクトチームを組み、30年度は高齢者の掃除に対する負担を軽減するアイデアや情報を収集し、説明動画・紙資料を作成しました。「南なんデー」では掃除の便利グッズ展示・ワークショップを開き区民に広く情報発信を行いました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

計画①地域の社会資源や地域のネットワークを把握し、活用出来るよう、情報収集・管理を行います。

報告①毎月1回5職種会議を行い、各専門職の事業、取り組みや会議などで収集した情報を共有して連携の強化を図りました。

計画②地域包括支援センターへの理解が深まるよう、連合町内会議・民生委員・児童委員協議会会議・友愛活動推進員会議など地域の会議への出席や関係機関への訪問などを通じて周知をしていきます。

報告②地域の会議に毎回出席して、連携を図り、ネットワーク構築に努めました。

計画③広報紙を隔月で、エリアの薬局・医療機関に配布し周知を図ります。

報告③隔月発行の広報紙を配布しながら、顔の見える関係をつくり連携を図りました。

計画④介護保険サービス事業所を毎月訪問し情報交換を行います。

報告④定期的に訪問をして、お互いに相談しやすい関係を構築しました。

計画⑤地域の老人会の食事会や高齢者マンション巡り等で役割周知を行ないます。

報告⑤食事会や単一の老人会、近隣の福祉施設に出向き、地域包括支援センターの役割や活動の周知を行い、連携しやすい関係を作りました。

計画⑥地域の関連団体や関係機関との情報交換や会議などを通じて、支援チームが機能するための基盤となるネットワークの構築を行ないます。

報告⑥関係機関との連携を図り、地域ケア会議の参加依頼を行い、ネットワークの構築に努めました。

計画⑦区・区社会福祉協議会・医療機関・介護保険サービス事業所、民生委員等地域関係者・サービス利用者や住民等と多職種協働の会議などを行い、取り組んでいきます。

報告⑦地域ケア会議や運営推進会議等、状況に合わせて会議を行い、他職種連携を図り、地域の課題について取り組みました。

②実態把握

計画①横浜市統計ポータルサイトなどで配信されている各種統計資料をもとに、相談の集計を分析することで、エリアの実態把握に活用します。

報告①ポータルサイトや南区地域別データ集をもとに、数値から読み取れる地域の状況の把握をし、地域ケア会議に活用しました。

計画②相談や関係機関などからの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握に努めます。

報告②地域ケア会議において、地域の商店や金融機関などを含めた高齢者を支えるネットワーク構築が必要と言う意見が多く挙がりました。そのため、店舗向けのアンケートを実施。高齢者の見守りや地域の活動への協力依頼など店舗と地域のつながりづくりの方法に取り組んでいくことになりました。

計画③貸館利用団体や自主事業の参加者などから把握したニーズを、地域活動交流と協力し、事業に繋げるよう取り組みます。

報告③介護予防出張講座の参加者や担い手からの声、地域住民からの相談を受け、生

活支援体制整備、地域活動交流と連携し、堀睦地区に高齢者の集いの場定着化実現に向けて後方支援を行っています。

計画④個別地域ケア会議を重ねることによって、地域の課題を把握していきます。

報告④個別地域ケア会議の積み重ねから、高齢者の見守りについて店舗との協力が必要であるという課題の抽出ができました。

計画⑤独自様式によるアンケート調査（利用者満足度調査・自主事業ごと）を実施します。

報告⑤独自アンケートによる調査を実施し、ニーズの把握に務めました。

③総合相談支援

計画①相談支援の目的や内容について、3職種の専門的な知識や技能を活かした協議を行い、適切な支援に取り組みます。

報告①総合相談実数 419件 延べ件数 1758件
相談実数は前年度より2割増加しました。特に夏場の相談が多く、7月の相談件数は月平均の1.8倍でした。個別のケースについては毎朝のミーティングで情報共有を行い、困難ケースや専門的な知識が必要なケースについては3職で支援方針を検討し、適切な支援に務めました。

計画②社会資源の情報やマニュアルを整理・更新し、職員間で共有することで、担当者によって対応が変わらぬよう、支援の均一化に努めます。

報告②社会資源の情報はミーティングや回覧などの方法で共有したのちに種類ごとにファイリングし、対応したものが適宜相談者に情報提供できるようにしました。

計画③特に困難ケース等の支援については部署内、区とのカンファレンス等で定期的に支援方針を検討し、必要に応じて訪問や電話などでモニタリングを行い、継続支援を行います。

報告③必要に応じて関係機関と同行訪問や支援方針決定のケースカンファレンスを開催し、協力して相談対応に務めました。

計画④民生委員や地域住民、関係機関から受けた相談については、同行での訪問や個別地域ケア会議の議題にする等、常に連携を意識して支援に取り組み、地域包括支援ネットワークの構築に努めます。

報告④民生委員と連携し、同行訪問や地域ケア会議への参加を依頼し、地域の課題を共有することが出来ました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

計画①南区成年後見サポートネットワーク会議へ出席し、地域の利用状況、課題などの把握に努めます。

計画②成年後見制度および権利擁護に関する研修会に参加をすることで知識や理解を深め相談対応に活かします。

報告①②成年後見サポートネットワーク会議や消費者被害防止についての職員向け研修会に参加をし、区内の実状把握や課題など理解を深め、相談対応に活かすことが出来ました。

計画③成年後見制度や相続遺言に関して専門職団体と連携し、地域住民向けやサービス事業所・ケアマネジャー向けの講座を開催します。

報告③司法書士会に講師を依頼し、ケアマネジャー向け成年後見講座を開催しました。また、サービス付き高齢者住宅や老人会においてエンディングノートや消費者被害防止のミニ講座を開催しました。

計画④権利擁護や消費者被害防止に関する情報をケアプラザの広報紙などに掲載します。

報告④消費者被害防止について 国民生活センターからの情報を情報ラウンジに掲示やファイルをし、来館者に最新の情報を提供しました。

計画⑤財産管理に関する支援が必要な困難事例や区長申し立てが必要な事例について、アセスメントに基づき区役所やあんしんセンターと連携し、適宜協働で支援を行います。

計画⑥申し立て手続きの流れを理解し、親族申し立ての相談に適切なアドバイスを行います。

計画⑦親族申し立て支援にあたり、第三者後見人が必要な場合に適切なアドバイスができるよう、相談ケースの対応や講座の開催などの機会に各専門職団体との連携を深めることで特徴を理解し、必要に応じて適切な団体の紹介を行えるようにします。

報告⑤⑥⑦成年後見や消費者被害に関する相談は 17 件ありました。そのうち専門職団体との連携が必要であったケースが 11 件。また申し立てに至ったケースは 6 件で本人申し立て 1 件、親族申し立てが 3 件でした。

②高齢者虐待への対応

計画①高齢者虐待についての相談があった場合は、南区版高齢者虐待相談受付票を用い、速やかに区役所との情報共有、事実確認を行う。支援方針についてはカンファレンスなどで検討し、適切な支援に取り組みます。

報告①相談があった虐待ケースについては受付票を活用して区との情報共有に務めた。対応についても区と連携し、関係者で適宜カンファレンスを行い、支援方針について検討を行った。

計画②高齢者虐待に対し適切な支援ができるよう、区役所と共に勉強会を開催します

報告②高齢者虐待防止事業担当として、区役所と共に関東学院大学副田あけみ教授を講師に迎え、ケアマネジャー向け研修会を開催しました。

計画③高齢者虐待の予防、早期発見・対応に地域住民と共に取り組めるよう、区役所と協力し、地域住民やサービス事業所に向けた講座の開催や広報等、普及啓発を目的とした情報の発信に努めます。

報告③蒔田地区民生委員向け研修、法人内デイサービス相談員向け研修、南区訪問介護連絡会向け研修会（虐待防止事業担当として企画）を開催。また、8050 問題への取り組みとして、障害を持つ当事者向けの介護保険講座の開催や、障害者の支援機関と連携会議開催に向けた働きかけ・協力をを行い、自立支援協議会や連絡会へ参加しました。

③認知症

計画①新たなキャラバンメイトの担い手を発掘します。

報告①サポーター養成講座を通して、活動を一緒にしたいと考えている人が出てきているので、今後担い手になってもらえるように取り組んでいきます。

計画②認知症啓発隊として認知症キャラバンメイトのチームを発足する。定例会で勉強会や認知症サポーター養成講座の内容を決めて、顔を合わせて意見交換をすることで内容の良い伝え方を考えていきます。ケアプラザで行うことで、地域からの依頼に応えることが出来るようにしていきます。

報告②キャラバンメイトのメンバーは、9 人になりました。毎月、定例会を行い、養成講座の対象者にあつた内容になるように話し合い、独自のものを作っています。認知症サポーター養成講座は、キッズを対象に 2 回、民衆館で 1 回行いました。

計画③南区あんしんネットワークを地域住民、関係者に周知し、活用を促します。

報告③普及啓発を適宜行い、認知症高齢者が行方不明になった際の早期発見を目指しました。

計画④認知症に関する相談を受けた際には、オレンジガイドを活用し、早い段階から相談者が受けられる支援の仕組みが理解できるように情報提供を行います。

報告④オレンジガイドと併用して、南区独自のはやわかりガイドも説明して情報提供しました。

計画⑤介護者が孤立しないよう、介護者サロンの取り組みについて、介護者および介護事業所等に発信していきます。

報告⑤地域の会議やケアマネ連絡会の際に周知を行い、普及活動に努めました。

計画⑥認知症の人と家族がともに安心して過ごせる居場所の支援として、介護者サロンを月に一回開催します。

報告⑥気軽に話せる場所の1つとして定着しています。今後も内容を参加者と相談しながら継続していきます。

計画⑦介護者サロン参加者のニーズ把握に努め、適宜介護に関する講座や施設見学会などを企画・開催することで、介護に関する新しい情報の収集ができるよう取り組みを行います。

報告⑦「移動・移乗の仕方」「排泄」に関しての介護技術講座を2回行いました。身体に負担なく介護を続けることができるような支援の方法を情報提供していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

計画①各部門と連携し、地域の社会資源や地域のネットワークの情報収集・整理を行い、活用できるようにケアマネジャーに情報提供していきます。

報告①地域交流や生活支援等と定期的に5職種会議を行い、地域の情報等を意見交換して活用できるようにします。

計画②地域住民や関係機関・福祉施設等に対し、介護保険制度や地域包括支援センターへの理解が深まるように周知をしていきます。

報告②地域の会議には、交代で出席し、地域包括支援センターの役割や介護保険制度について伝え、連携推進に努めました。
地域密着型のデイサービスやグループホームの運営推進会議にも出席し、連携を深めました。

計画③ケアマネジャーと地域の民生委員やボランティア団体、介護保険サービス事業者等の関係団体とのネットワークの構築のための取り組み（情報交換等）を行っていきます。

報告③ケアマネジャーと民生委員との交流会を地域ごとに行い、情報交換をして、ネットワーク構築に努めました。民生委員さんからの相談も増え、地域の課題について共有することができました。

②医療・介護の連携推進支援

計画①ケアマネジャーと医療機関等とのネットワークの構築のための取り組み（情報交換会等）を行っていきます。

報告①毎月ケアプラザ協力医と地域のケアマネジャーとの事例検討会を開催し、ケアマネジャーが相談しやすい場を提供し、意見交換、情報交換をしました。
地域住民向けの講座を2回開催し、気軽に医療について知る機会を設けました。

計画②エリア内の医療機関や事業所を個別に訪問し、情報交換等を行っていきます。

報告②定期的に訪問することで、顔の見える関係が構築でき、協力体制の強化に繋がりました。

計画③在宅医療連携拠点と連携し、地域の医療・介護連携を推進していきます。（事例検討会・多職種連携会議・研修開催等の連携・協力）

報告③南区在宅療養支援ネットワーク会の事例検討会に参加し、介護や医療との他職種連携に努め、ネットワーク構築のための取り組みを行いました。

③ケアマネジャー支援

計画①ケアマネジャーからの相談に、包括支援センター職員内で情報共有して対応し、支援困難事例・緊急対応等を関係機関と協力して支援します。

報告①・虐待ケースについては同行訪問し、区とも連携し事実確認やケアマネジャーとの関係性に注意しながら、家族対応に努めました。

・継続的に支援が必要なケースについては、担当者会議に同席し、具体的な支援の方法について助言対応にあたりました。

・困難ケースは区役所・3職種が連携し、サービス担当者会議に参加、同行訪問を行いケアマネジャーがひとりで抱えこまないように支援しました。また必要に応じて「個別地域ケア会議」につなげ、地域住民と連携を図ります。

計画②サービス担当者会議の開催支援・事例検討・研修会を行い、ケアマネジャーの質の向上の支援を行います。

報告②睦ケアマネ連絡会は、年12回行い、お互いにケースの相談や情報交換を行いました。身近に相談できる場の提供として今後も継続していきます。

計画③介護保険情報や行政サービスの理解、医療連携、施設見学等の実習を通して、新任・就労予定ケアマネジャーの支援を行います。

報告③区・8包括の協働で、約半年の長期にかけて、行政サービスの理解、施設見学等の実習を行いました。今年度は、8名の参加でした。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

計画①包括レベル地域ケア会議を実施し、地域課題を検討し、地域づくり・資源開発に向けて取り組みます。

報告①個別地域ケア会議で、支援が必要な独居高齢者が実際に困っていないのは、利便性であることがわかりました。商店などと連携することで見守りの支援体制を強化する取り組みを進めていきます。生活支援コーディネーターと社会資源の創設を目指します。

計画②個別ケース地域ケア会議を開催し、多職種の専門的視点を交えて検討することで個別支援の充実、参加者の資質の向上、関係職種との連携促進に取り組みます。

報告②高齢者の見守りを課題にあげ、民生委員や地域住民、ケアマネジャー間の情報共有ができ、包括レベル地域ケア会議につなげることができ、地域で取り組んでいく方向性を見ることができました。

計画③地域ケア会議開催後の振り返りなどを通して、課題解決に向けた連携・協働の準備・調整を行います。

報告③課題解決につながりそうな地域資源が抽出されたので、こうした商店や金融機関等と地域がつながりを深め、高齢者を支えるネットワークづくりに取り組んでいきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント (指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)
計画①事業対象者・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントを行います。
計画②ケアプランの中に地域のインフォーマルサービス等を組み込み、地域の特性を生かした支援を行います。
報告①②「できるようになりたい」という本人の意欲に働きかけ、地域の中で自立した生活が送れるよう「心身機能」だけではなく、「活動」や「参加」にバランス良くアプローチが出来るよう、地域のインフォーマルサービスを取り入れたプランの作成に取り組みました。
計画③委託を行う場合はケアマネジャーが適切なケアマネジメントを実践できるように、介護予防支援業務に関する研修会や介護予防事業の情報提供を行います。
報告③担当者会議に出来るだけ出席し、プランに対する助言やインフォーマルサービスの情報提供を行いました。 区や南区8包括が協働し、ケアマネジャー向けに介護予防ケアマネジメント研修を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
計画①介護予防教室・講座の開催を行い、介護予防の知識と実践の機会を提供していきます。
報告①地域の高齢者向けに介護予防教室を行いました。講師を招いて、ロコモ予防、栄養、口腔、尿失禁予防、フレイル予防について、また今年度は新たに腰痛予防講座、フットケア講座を行い、ケアをすることで活動的な生活を送っていただけよう取り組みました。年間で7回開催し述べ113名の参加がありました。
計画②地域の高齢者の状態を把握し、介護予防のきっかけとなる情報提供や、場の提供を行い活動への参加を促します。
報告②お元気で21健診を睦地域ケアプラザ、蒔田コミュニティハウスで1回ずつ実施し61名の参加がありました。介護のリスクのある方を拾い上げ、助言や地域で活動しているグループの紹介や介護予防事業への参加を呼び掛けかました。 地域診断を行い、今年度は堀ノ内地区の坂の上でケアプラザに出向くのが難しい地域の高齢者の方々が参加できる場として、ゆいハイムサロンスペースで介護予防の出張講座を計4回開催しました。地域交流コーディネーターや、生活支援コーディネーターと協働し、より多くの方に参加してもらえるよう、講座の後はコーヒーを飲みながら交流が図れる時間を設け、述べ62名の参加がありました。 また、地域の食事会等にも計9回出席し出張講座を行っています。 お元気で21健診や出張講座は、ボランティアの介護予防サポーターとともに内容を組み立てて行っています。
計画③元気づくりステーションの活動の支援を行い、グループの継続的な活動と地域の中での介護予防の取り組みが広がるように働きかけます。
計画④地域の介護予防の取り組みの担い手の発掘・支援を行い、介護予防の取り組みが広がるように働きかけます。
報告③④元気づくりステーションで活動している方々を対象に参加、活動の効果や意義を実感できるよう講師を招き、肯定的評価を受ける機会を設けました。一般の方も参加していただき活動の紹介、会への参加を呼びかけています。 介護予防事業や、出張講座で担い手となる介護予防サポーターの活動を紹介

し、介護予防サポーター養成講座への参加、活動の呼びかけをしています。今年度睦エリアではサポーターが4名増員となり、12名で活動しています。事業等に合わせて定例会を計9回開催し、意見交換をしながら介護予防活動を行っています。

5 その他

その他

6 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理

計画① 定期的な保守点検の実施：構築物、建築設備、電気、消防など各種法令に基づき定期的な保守点検を実施し、安全な施設運営を行います。

報告① 構築物、建物設備、電気、消防設備等、法令に基づき定期的に点検を実施、必要箇所においては修繕を行い、区に報告致しました。

計画② 定期的な清掃：職員による日常清掃の他に、障害雇用者の方や専門の外部業者に定期清掃を委託し、施設利用者が快適に過ごせるように努めます。

報告② 外部業者による2ヶ月に1回の定期清掃、有償ボランティアによる外掃除や職員による日常清掃を継続しました。

計画③ 施設内外の点検：夜間帯は職員が2名体制で施設内外の巡回点検を行います。修繕が必要な箇所については、安全を第一に考慮し適切な処置を行い報告致します。また年1回、外部業者による建築設備検査を実施します。

計画④ 屋上植栽管理：専門業者による植栽の手入れを2ヶ月に1回行います。

報告③④ 計画通り実施しました。

【複合施設としての共有管理は南区と締結した「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」に基づき相互に協力し適切に管理します】

(2) 効率的な運営への取組

計画① 適切な運営を行うため、経費節減・資源の有効活用に努めます。法人の経理部門と適宜収支の確認を行います。

報告① 法人本部、及び経理部門に相談しながら指定管理料に応じた適切な運営を行い予算管理に努めました。

計画② 物品の購入に関しては価格の見積もり合わせを行い、部署間でまとめて購入する等効率的に購入する様努めます。

報告② 見積もり合わせを行い業者を公平に選択し購入しました。

計画③ 光熱水費の節約や室内環境の保全に努め、省エネルギーに取り組みます。

計画④ 分別を行い、資源の有効活用や再利用に努める等リサイクルへの取り組みを行います。

報告③④ 節電に努め、外回りの掃除には雨水タンクを活用、封筒の再利用や裏紙の活用等省エネやリサイクルに努めました。

(3) 苦情受付体制

計画① 苦情解決対応に関しては法人の規定に基づき、苦情受付担当者、解決責任者、第三者委員会の設置や申し立て方法のフォロー図を館内にも掲示してあります。迅速に苦情解決委員会を開催し、適切な対応をします。

計画② 館内にご意見箱の設置や無記名アンケートを実施し、ご利用者からの意見収集に努めます。

報告①② ご意見・要望・苦情は受け付け担当者、解決責任者からなる苦情解決委員会において対応しました。アンケート結果を掲示、苦情対応結果についても情報ラウンジで閲覧できるようファイルを設置しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応

計画① 事故発生時の対応の周知

- ・ 事故対応マニュアルに沿って法人本部、行政、各関係機関に報告、迅速に対応します。

- ・ A E D研修及び、救急時の対応を全職員が受講し、意識の向上を図ります。

報告① 事故対応マニュアルに沿って法人本部、行政、各関係機関に報告迅速に対応するよう周知しました。南区内で発生した事故について、職員会議で共有しました。

計画② 防犯への取り組み

- ・ 遅番職員2名体制で毎日施設内外の巡回点検により安全確認を行い、状況を記録します。

- ・ 24時間対応の監視カメラや出入り口のセンサーチャイムを設置し、不審者等のチェックを行います。

- ・ 職員のセキュリティーカードや鍵の保有者を限定し、記録簿で持ち出しの管理を行い入退出記録簿の記入も行います。

計画③ 防災への取り組み

- ・ 防災マニュアル、消防計画に沿って貸し館利用者を含んだ避難訓練の実施及び年1回の複合施設合同避難訓練を管轄の消防出張所の下に行います。

- ・ 職員が地域の防災訓練に参加し地域との連携を意識するとともに、防災拠点会議への参加を継続します。

- ・ 火災受信機の取扱いの講習を定期的実施し、職員の意識向上に努めます。

報告②③ 計画通り実施。複合合同訓練は蒔田消防出張所のもと、9月21日に実施しました。初期消火・A E Dの使用方法等改めて学びました。

計画④ 福祉避難場所指定施設としての意識をもつ

- ・ 災害時用備蓄品を福祉避難場所用備蓄品とは別に整備します。

- ・ 定期的な福祉避難場所開設マニュアルの見直しや備蓄品の整備・管理を行います。

報告④ 備蓄品の整備・管理を行い、消費期限が過ぎたものを備蓄することがないように留意致しました。

(5) 事故防止への取組

計画①事故防止のための取り組みの充実

- ・ 毎月法人の部門会議で事故報告やヒヤリ・ハット報告等を行い再発防止及び原因を共有し、再発防止に努めます。
- ・ 法人の他部署での事故や所長会で報告の上がった事故報告等を職員会議や回覧にて周知し、事故防止に対する意識向上に努めます。
- ・ 複合施設として安全衛生委員会を月1回程度行い、館内を巡回して危険箇所がないか確認、情報共有を行い事故防止に努めます。

報告①今年度、個人情報の漏えい事故（提供票の作成誤りによる誤送付）が1件ありました。迅速に対応し、健康福祉局・南区役所にも報告、再発防止委員会を開催し具体的な解決策を講じました。全部署で共有し、事故防止に対する意識向上を図りました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組

計画①個人情報漏えい防止への取り組みを徹底します。

- ・ 定期的に個人情報チェックシートによる自己点検を実施し、職員の意識向上に努めます。
- ・ 法人の個人情報保護規程に基づき作成したケアプラザ規程を、館内に掲示します。
- ・ 個人情報を含んだFAX送信は原則行わず、やむを得ない場合は特定されぬよう塗りつぶし職員2人体制で送信し電話連絡で届いたか確認を行います。また、送信記録表に記載しています。
- ・ 郵送物は送付する前に、必ず2人体制で宛名、内容を確認します。また個人情報に関するデータ入力についても2人体制で確認をしています。
- ・ 個人を特定出来る情報や個人ファイル等を保管している書庫には、施錠して厳重な管理を行います。
- ・ 事業所外への個人ファイルの持ち出しは原則禁止し、止むを得ず持ち出しが必要な場合は所長又は事業部の管理者の許可を得て記録簿に記載します。
- ・ ボランティアや実習生受け入れの際は、個人情報の取扱いに関する説明を行い誓約書を取り交わします。

報告①計画通りに実施していましたが、個人情報漏えい事故が1件発生しました。再度、チェック機能を徹底しました。

(7) 情報公開への取組について

計画①開示請求への対応：ケアプラザに対する情報開示の請求がある場合は法人規程に則り、情報開示を行います。

計画②ケアプラザからの積極的な情報発信

- ・ケアプラザのホームページ、隔月発行の広報紙による情報提供の継続やブログにて最新情報を掲載します。
- ・施設内に項目別に分類したリーフレットやパンフレットを設置し、健康福祉サービスの情報提供を継続します。
- ・事業計画や事業報告を掲載したファイルを情報ラウンジに置き、施設の運営状況を自由に閲覧できるようにします。

報告①②計画通り実施。廊下にサークル団体のコミュニケーションボードを設置、情報発信や交流のツールとしました。

(8) 人権啓発への取組について

計画①地域ケアプラザ職員として人権問題について正しい知識と認識を深めるよう職員会議にて研修を行います。

計画②情報ラウンジにポスターや資料を掲示し、来所者に対しても啓発に繋がるよう取り組みを継続します。

報告①②「多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり」性的マイノリティをテーマに職員会議にて全職員に研修を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

計画①ゴミの削減に努めます。

報告①職員や来館者のゴミの持ち帰りの励行し、分別の徹底やゴミの減量を継続しました。

計画②資源の有効活用に努めます。

報告②地域の方の協力を得ながら、エコキャップ回収、古切手回収を継続し、エコ活動を積極的に行いました。

コピー用紙は裏紙を活用し、使用済み封筒を再利用して、広報紙の配布等に活用しました。

7 介護保険事業

(1) 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

① 職員体制

管理者	1名(常勤兼務)
主任ケアマネジャー	1名(常勤)
社会福祉士	1名(常勤)
看護師	1名(常勤)
介護予防プランナー	1名(常勤)

② 目標

計画①事業対象者・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントを行います。

報告①「～したい」という思いを引きだし、本人の意思・意欲を尊重することで主体的に取り組めるようプラン作成を行いました。

計画②ケアプランの中に地域のインフォーマルサービス等を組み込み、地域の特性を生かした支援を行います。

計画③委託を行う場合はケアマネジャーが適切なケアマネジメントを実践できるように、介護予防支援業務に関する研修会や介護予防事業の情報提供を行います。

報告②③家族や地域住民による支援、地域の事業や活動グループへの参加等も組み込んだ支援を行いました。委託のケアマネジャーとも連携を図り、情報提供やケアマネジメントに関する研修を行いました。

③ 実費負担

- ・利用者負担はありません。サービス提供地域を超える地域への訪問等を行う必要がある場合は、その交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

④ その他（特徴的な取組、PR等）

- ・各々の職種がもつ専門的知識を更に向上するよう外部研修を受講し自己研鑽に励み、伝達研修で共有することで3職種4業務の対応能力の向上に努めました。
- ・事業所の選択は利用者の意向を尊重し、一覧表やパンフレットを提示しながら公正中立に行い、またアンケートの実施も行いました。
- ・地域活動交流・生活支援・居宅介護支援センターと定期的に会議を開催し地域や事業の情報共有に努めケアプラザ全体で対応しました。

⑤ 利用者実績

4月：181人	5月：180人	6月：179人	7月：179人
8月：182人	9月：180人	10月：185人	11月：186人
12月：182人	1月：182人	2月：188人	3月：186人

(2) 居宅介護支援事業

① 職員体制

管理者	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
ケアマネジャー	3名（常勤）

② 目標

計画①各自が積極的に研修に参加し自己研鑽に励み、振り返りの研修報告を行うことで部署内のスキルアップを目指します。

報告①外部研修や事例検討会に参加、居宅内にて振り返りを行い、資料の回覧や情報共有を実施しました。伝達研修はケアプラザ全体で共有すべき題材が少なく1回のみでした。

計画②地域包括システムの構築に向け、介護保険事業所に限らず地域の方々や関係機関と顔の見える関係作りを目指します。

報告②地域ケア会議、民生委員との交流会等に参加し、地域の方との交流機会は昨年度より増加しています。

計画③住み慣れた地域で継続した生活を送れるよう、介護保険サービスだけでなくインフォーマルを取り入れ、自立支援に向けたケアプラン作成を行います。

報告③社会的な繋がりが途切れている方も少なくない。地域の活動をケアプランに導入し、社会的孤立の解消に向けて、取り組みました。導入を心がけていますが利用に至らない現状がありました。

③ 実費負担

- ・利用者負担はありません。サービス提供地域を越える地域への訪問等を行う必要がある場合は、その交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

④ その他（特徴的な取組、PR等）

- ・ケアプラザの広報紙や各事業、サークル活動の情報提供を行い、社会参加を促します。
- ・虐待ケース及び困難ケース等は地域包括支援センター、区役所など関係機関と連携し利用者及び家族の支援を行います。
- ・地域ケア会議へ事例の提供や地域の課題解決に向け積極的に参加します。
- ・他事業所のケアマネジャーや他サービス事業所との連携に努め、事例検討や情報交換、情報共有に努めます。
- ・南区介護支援専門員連絡会の役員、横浜市介護支援専門員協議会の会員継続及び研修に参加します。

⑤ 利用者実績

4月：106人	5月：108人	6月：109人	7月：112人
8月：111人	9月：108人	10月：109人	11月：109人
12月：108人	1月：108人	2月：110人	3月：111人

平成30年度「聴地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計) <地域活動交流>

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,710,120	0	18,710,120	18,710,120	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当 事業	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	27,550	△ 27,550	自主事業参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0	0	0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0	0	0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0	0	0	0	0	
収入合計	18,710,120	0	18,710,120	18,737,670	△ 27,550	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	12,504,441	△ 1,815,441	
本俸	8,540,000	0	8,540,000	9,732,451	△ 1,192,451	本俸
社会保険料	800,000	0	800,000	1,253,025	△ 453,025	社会保険料
手当計	900,000	0	900,000	1,361,643	△ 461,643	期末手当、通勤手当、調整手当
健康診断費	42,000	0	42,000	23,822	18,178	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
その他	407,000	0	407,000	133,500	273,500	その他
事務費	650,000	0	650,000	2,807,800	△ 2,157,800	
旅費	0	0	0	1,236	△ 1,236	交通費
消耗品費	150,000	0	150,000	225,945	△ 75,945	コピー用紙、文房具、洗剤、電気ポット
会議購い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	120,000	0	120,000	630,352	△ 510,352	チラシ、資料印刷、広報誌
通信費	120,000	0	120,000	664,195	△ 544,195	電話代、切手、携帯、インターネット回線
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	30,000	0	30,000	126,360	△ 96,360	ハンドマイク等
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	70,000	0	70,000	80,000	△ 10,000	施設損害責任保険料
職員等研修費	10,000	0	10,000	3,827	6,173	研修受講料等
振込手数料	3,000	0	3,000	30,000	△ 27,000	振り込み手数料
リース料	100,000	0	100,000	250,000	△ 150,000	パソコン・コピー機
手数料	3,000	0	3,000	439,185	△ 436,185	点検割増料・ごみ回収
地域協力費	39,000	0	39,000	106,700	△ 67,700	賞詞交歓会費・広告掲載料
その他	5,000	0	5,000	250,000	△ 245,000	福利厚生・会費
事業費	1,192,000	0	1,192,000	402,646	789,354	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	7,908	34,092	運営協議会経費
指定管理料充当 事業	1,150,000	0	1,150,000	394,738	755,262	事業運営費
管理費	5,324,000	0	5,324,000	4,534,852	789,148	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	530,000	0	530,000	1,189,572	△ 659,572	光熱水費
電気料金	130,000	0	130,000	850,544	△ 720,544	
ガス料金	300,000	0	300,000	143,938	156,062	
水道料金	100,000	0	100,000	195,090	△ 95,090	
清掃費	1,800,000	0	1,800,000	1,336,040	463,960	清掃費
修繕費	474,000	0	474,000	165,241	308,759	修繕費
機械整備費	500,000	0	500,000	358,344	141,656	機械整備費
設備保全費	2,020,000	0	2,020,000	1,485,655	534,345	
空調衛生設備保守	120,000	0	120,000	77,464	42,536	空調衛生設備保守
消防設備保守	120,000	0	120,000	68,256	51,744	消防設備保守
電気設備保守	120,000	0	120,000	90,352	29,648	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	80,000	0	80,000	59,724	20,276	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	1,580,000	0	1,580,000	1,189,859	390,141	表示灯等
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	855,120	0	855,120	1,000,355	△ 145,235	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	850,120	0	850,120	1,000,355	△ 150,235	消費税
印紙税	0	0	0	0	0	
その他()	0	0	0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	18,710,120	0	18,710,120	21,250,094	△ 2,539,974	
差引	0	0	0	△ 2,512,424	2,512,424	

自主事業費収入	1,150,000	0	1,150,000	27,550	1,122,450	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,150,000	0	1,150,000	394,738	755,262	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 367,188	367,188	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度「睦地域ケアプラザ(施設名)」

収支予算書及び報告書(特別会計) <包括・介護予防・生活支援>

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,420,000	0	23,420,000	23,420,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	17,750	△ 17,750	自主事業参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他(指定管理充当)	0	0	0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0	0	0	0	0	
収入合計	29,360,000	0	29,360,000	29,377,750	△ 17,750	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,519,000	0	25,519,000	21,760,032	3,758,968	
本俸	18,173,000	0	18,173,000	14,003,058	4,169,942	本俸
社会保険料	2,800,000	0	2,800,000	2,697,462	102,538	社会保険料
手当計	3,703,376	0	3,703,376	4,095,396	△ 392,020	期末手当、通勤手当等
健康診断費	41,130	0	41,130	29,616	11,514	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	267,000	△ 267,000	勤労者福祉共済掛金
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
その他	801,494	0	801,494	667,500	133,994	その他
事務費	360,000	0	360,000	1,210,122	△ 850,122	
旅費	5,000	0	5,000	2,778	2,222	交通費
消耗品費	100,000	0	100,000	242,988	△ 142,988	コピー用紙、文房具、洗剤、電気ポット
会議諸費	5,000	0	5,000	5,000	0	お茶代
印刷製本費	5,000	0	5,000	30,000	△ 25,000	ちらし、パンフレット、資料印刷
通信費	400,000	0	400,000	312,040	87,960	電話代、切手、携帯、インターネット回線
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	20,000	0	20,000	137,100	△ 117,100	パイプ丸椅子、ハンドマイク
図書購入費	0	0	0	60,000	△ 60,000	ソフト
施設賠償責任保険	10,000	0	10,000	70,000	△ 60,000	施設賠償責任保険
職員等研修費	10,000	0	10,000	22,500	△ 12,500	研修受講料
振込手数料	3,000	0	3,000	15,480	△ 12,480	振り込み手数料
リース料	105,000	0	105,000	209,628	△ 104,628	パソコン、コピー機リース料
手数料	6,000	0	6,000	23,608	△ 17,608	指定更新手数料
地域協力費	5,000	0	5,000	9,000	△ 4,000	質問交歓会費
その他	46,000	0	46,000	70,000	△ 24,000	福利厚生、広告、会費
事業費	2,015,000	0	2,015,000	925,673	1,089,327	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	協力医謝金
指定管理料充当 事業(包括)	925,000	0	925,000	118,894	806,106	包括事業費
指定管理料充当 事業(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	一般介護事業費
指定管理料充当 事業(生活支援)	309,000	0	309,000	151,779	157,221	生活支援体制整備事業費
管理費	1,466,000	0	1,466,000	1,205,459	260,541	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	200,000	0	200,000	316,215	△ 116,215	光熱水費
電気料金	800,000	0	800,000	226,094	573,906	
ガス料金	70,000	0	70,000	38,262	31,738	
水道料金	50,000	0	50,000	51,859	△ 1,859	
清掃費	600,000	0	600,000	355,148	244,852	清掃費
修繕費	126,000	0	126,000	43,923	82,077	修繕費
機械警備費	100,000	0	100,000	95,256	4,744	機械警備費
設備保全費	440,000	0	440,000	394,917	45,083	
空調衛生設備保守	20,000	0	20,000	20,591	△ 591	空調衛生設備保守
消防設備保守	18,000	0	18,000	18,144	△ 144	消防設備保守
電気設備保守	9,000	0	9,000	24,017	△ 15,017	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	15,000	0	15,000	15,876	△ 876	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	378,000	0	378,000	316,289	61,711	表示灯等
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他()	0	0	0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	29,360,000	0	29,360,000	25,101,286	4,258,714	
差引	0	0	0	4,276,464	△ 4,276,464	

自主事業費収入	1,385,000	0	1,385,000	17,750	1,367,250	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,385,000	0	1,385,000	421,673	963,327	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 403,923	403,923	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 睦地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	21,000	23,643	-2,643			0			0
	その他	10,980	7,080	3,900	480	505	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	10,980	7,080	3,900			0	指定管理業務外					
	事業・負担金収入			0			0						
				0			0						
				0			0						
				0			0			0			0
				0			0			0			0
			0			0			0			0	
	収入合計(A)	10,980	7,080	3,900	21,480	24,148	-2,668	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	4,363	2,789	1,574	18,930	16,742	2,188			0			0
	事務費			0	2,000	1,059	941			0			0
	事業費			0	200	47	153			0			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	5,580	2,569	3,011	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	5,580	2,569	3,011			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
			0			0			0			0	
	支出合計(B)	9,943	5,358	4,585	21,130	17,848	3,282	0	0	0	0	0	0
	収支 (A)-(B)	1,037	1,722	-685	350	6,300	-5,950	0	0	0	0	0	0

平成30年度 自主事業報告書

睦地域ケアプラザ

【地域交流活動事業】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エコ・リサイクル推進活動	<p>目的：エコ・リサイクル活動を通して、地域参加を推進する。</p> <p>内容：エコキャップ分別の機会をボランティア活動として設け、地域住民の自主参加を推進する。また、エコ・リサイクルへの意識向上を図った。</p>	5/12・7/6・7/7・12/24 4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レインボーキッズ	<p>目的：知的障害児の余暇活動を充実する。</p> <p>内容：ダンスや体操を通じて楽しみながら体力作りと余暇の充実を行なう。保護者同士の交流を図った。</p>	第3土曜日+いずれかの土曜日 年2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
堀睦地区福祉まつり	<p>目的：地域連携・ネットワーク作り地域住民が主体の祭りとしてのコーディネートをとケアプラザで行うことを目指す。地域に住む若い世代が祭りなら手伝いをしてくれることから、町内会・地区社協の担い手との顔見知りの機会して行う。</p> <p>内容：地域住民主催で開催。ケアプラザは事務局兼貸し館を担った。</p>	11/11実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>目的：エリア内に親子の居場所を創生する。</p> <p>内容：①0歳～未就園児の親子が、仲間と交流し、安心して過ごせる居場所を提供した。 ②参加者のニーズに合わせ講座を企画開催した。(歯科講座・リトミック等)</p>	毎月第3(月) 午前10時～ 11時30分 年12回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁クラブ	<p>目的：棋楽会のボランティア活動の活性化を図る。</p> <p>内容：毎月4回開催ケアプラザ多目的ホールにて、囲碁ボランティア活動を行なっているメンバーが地域住民と交流する機会を設け、介護予防の支援を心掛けた。</p>	<p>毎月 第2・4木曜日 年47回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての囲碁入門講座 (新規事業)	<p>目的：自主事業で行っている囲碁クラブの参加人数が高齢化によるメンバー減少となっている。現在の参加者の希望からメンバー増員のための事業を開催し、活動の活性化をはかる。</p> <p>内容：囲碁クラブの参加者が講師となり、目の少ない碁盤から練習して行きます。覚えた成果を囲碁クラブで試せるように同じ曜日で開催した。</p>	<p>4月～6月 木曜日 全10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい理解講座	<p>目的：地域を対象に障がいの理解を促す。障がいのある方が地域に出向き、活動がしやすい環境をつくる。</p> <p>内容：地域向けに作った「障がいの理解について」の講座をケアプラザエリアの地区社協へ向けて開催する。講師に今まで区内各地で経験を積んでおり、分かりやすく講義が行えるNPO法人「あいの木」を招いて行った。</p>	<p>8/22・10/30実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア塾	<p>目的：高齢者介護予防のため、地域高齢サロンの活性化を図る。</p> <p>内容：体操を行う。色々な講師に依頼することで、参加者が続けることが出来る体操を選ぶことが出来た。</p>	<p>毎月第2火曜日 年12回実施</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がいのある方と地域の交流事業	<p>目的：エリア内作業所に通う障がい者と地域住民が顔見知りとなる。地域においての障がいに関する啓発活動。障がいのある方の社会参加の場の創設を目的とする。</p> <p>内容：地域で行われているサロン等でボランティア活動を通じて地域住民とのコミュニケーションの場を提供する。障がいを持つ方の社会参加を通じ出来る事の可能性を見つけ出す機会となった。</p>	<p>蒔田地区高齢者サロン：月2回</p> <p>堀陸地区食事サロン：月2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食育講座 (区役所共催)	<p>目的：食育を通じて健康増進につなげる。</p> <p>内容：正しい食生活を伝えることで、健康の啓発を行う。</p>	<p>年1回 2月頃</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の脳トレ講座 (新規事業)	<p>目的：高齢者介護予防のための地域高齢サロンの活性化を図る。</p> <p>内容：公文のような短期完結型の問題を解いてもらう。回数を増やす事で継続しての参加を目指した。</p>	<p>第1月曜日 年11回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
むつみ健康麻雀	<p>目的：高齢者介護予防と閉じこもり防止をはかるため地域活動への参加の機会とする。</p> <p>内容：麻雀ニーズに応じて開催。男性高齢者の参加を促す。ケアプラザでは、麻雀のルール、やりなどを覚えてもらい地域で活動してもらう人材育成する。地域のボランティアによる麻雀講座開催した。</p>	<p>月1回第1日曜 年10回開催</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
非常食の工夫講座	<p>目的：災害時要援護者（乳児・幼児・介護を受けてる高齢者）などが、食べられる非常食の調理方法を学セルフケア能力を向上する。</p> <p>内容：ヘルスメイト共催にて開催。被災した時に配られる非常食が全ての年代に対応していない場合が多い。少しの加工で災害弱者となりうる人も食べられる方法を学び、災害時の知識として得てもらうことで被災した時に他者へ伝えられる人を育成した。</p>	1/24開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わいわい食堂	<p>目的：孤食・貧困課題を居場所を切り口として支援高齢者や障がい者の参加も増えており、異世代交流の場としても開催する。</p> <p>子どもの居場所として開催している「わいわい食堂」が活性化するためのアドバイスを行う。広報活動をケアプラザで行う。</p> <p>内容：子どもへの居場所の提供・体験・学習などの体験が出来るプログラムを取り入れながら行う。地域住民同士が顔見知りとなる場としても開催した。</p>	年12回 (第3土曜日)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
むつみ歌声ひろば	<p>目的：懐かしの歌を中心に歌う事で介護予防や引きこもり防止を目的とする。ケアプラザへ足を運ぶことで他の貸し館団体の周知にも繋げる。</p> <p>内容：講師を地域内で活躍している人をお願いする。曲などは講師と参加者で選んで実施した。</p>	第4木曜日 年12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーの淹れ方講座	<p>目的：高齢者（特に男性）の活躍の場として移動喫茶団体を作る。高齢者サロンなどに出向き活躍の場を創生する。</p> <p>内容：コーヒーの入れ方教室を行っている企業に依頼し開催する。あらかじめ団体化してくれる人材のみ募集し開催した。</p>	第2月曜日 10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
骨盤底筋体操	<p>目的：産後の母親の課題となっている。将来的な尿漏れに繋がらないように骨盤の筋肉を鍛える。産後の母親のケアプラザ来所の機会とする。</p> <p>内容：1才未満の子どもをもつ母親を対象に開催。講座は、骨盤底筋体操を行っている講師に依頼する。子どもを抱えながら出来る体操を行い保育しながらの運動を行った。</p>	7月～8月 7回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜こども市場食堂	<p>目的：近隣地域で子どもの居場所の毎週開催を目指す。子どもの貧困問題の解決を目的としたNPO法人との共催で開催。母子生活支援施設とも共催で開催することで、任意団体で活動する団体へのノウハウの提供が行えるようにする。子どもの居場所・異世代交流・ボランティア育成内容NPOの強みを活かした体験型の子どもの居場所を開催した。</p>	毎月 第2土曜日 年12回実施

平成30年度 自主事業報告書

睦地域ケアプラザ

【地域包括支援センター運営事業】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こんにちはケアプラザ！（共催）	<p>目的：ケアプラザが福祉や健康等の関する地域の相談窓口であることを周知し、早期相談に繋いでいくことを目指す。</p> <p>内容：高齢者の食事会・老人会に伺い地域包括支援センターの役割の周知や介護保険や介護予防、権利擁護に関するミニ講座を行った。終了後は個別相談を受け付けた。</p>	4/28. 6/20. 7/1 3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと民生委員の交流会	<p>目的：地域の見守りや協力を得るケースが増えているため、顔の見える関係を構築する。</p> <p>内容：介護保険のサービスに限らずインフォーマルサービスの取り組みを知る機会を作った。</p>	9/13・3/15実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お医者さんの話を聞こう	<p>目的：住民が健康に関するセルフケア能力の向上を目指す。</p> <p>内容：地域ケアプラザの協力医による地域住民向けに身近な病気の話をしていただき、健やかに暮らせるための具体策を学んだ。</p>	2/19実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー連絡会	<p>目的：ケアマネジャーのケアマネジメント力の向上を目指す。</p> <p>内容：エリア内の委託事業所のケアマネジャー・地域ケアプラザ協力医との事例検討や情報共有を行う。小規模な事業所もあるため制度について学んだり、困っているケースの相談をする場の提供を行った。</p>	毎月1回火曜日 12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護保険講座 (障害者向け)	<p>目的：障害と介護の垣根を外して、地域で安心して生活できるように、介護保険についての知識を習得する。</p> <p>内容：障害福祉サービス制度の利用者が65歳に達した場合、介護保険制度を優先利用することになるため、移行にあたり制度の仕組みや内容を学んだ。</p>	5/2・5/15実施

	目的・内容	実施時期・回数
老後の備え講座	<p>目的：高齢者の成年後見制度等の理解を深め、安心して暮らせるための知識を醸成する。</p> <p>内容：「老後の自分と家族を守る」をテーマに、相続や遺言・高齢者の金銭管理について地域住民、サービス事業所、ケアマネジャー向け講座の開催と相談会を開催した。</p>	1/23実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい (介護技術講座)	<p>目的：介護者の介護技術の講習やピアカウンセリングにより、介護負担の軽減を図る。</p> <p>内容：ケア地域の介護者向けに、「身体を痛めない介護」「排泄ケア」など介護者支援を目的とした講座を開催した。</p>	6/3・9/30実施

平成30年度 自主事業報告書

睦地域ケアプラザ

【生活支援体制整備事業】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子供新年会 (共催事業)	目的：子供や大人が伝統的なお正月文化や地域に伝わる文化に触れ多世代が関わり合う機会をつくる。 内容：着物体験やすごろく、書き初め等を行い子供たちの出店ブースを高齢者が手伝う形で、楽しみながら多世代交流を行った。開催にあたっては、睦コミュニティハウスと連携した。	1/12実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「スマイルの会」	目的：認知症予防と普及・啓発。認知症になっても参加できる居場所づくり。認知症予防「脳活性ゲーム・スリーA」の支援者の育成を目指す。 内容：脳の活性化とリハビリに効果のある「スリーA」を地域へ広めるための練習や活動について話合う定例会を開催した。	10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「睦オレンジ」 (共催事業)	目的：認知症の普及・啓発と、認知症サポーター養成のための支援者「キャラバンメイト」の活動を活性化する。 内容：サポーター養成講座の企画、内容についての検討や練習を行い、より良い講座の開催を目指した。	毎月第4火曜日 10回 開催

平成30年度 自主事業収支報告書

睦地域ケアプラザ

【地域交流活動事業】

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入				支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
男性の料理教室	①地域	82346	地活	64596	17750	0	52500	29013	833
	②30人		包括						
	③500円		生活						
レインボーキッズ	①障がい児	55000	地活	44300	10400	300	55000	0	0
	②9人		包括						
	③100円		生活						
第12回 睦地域ケアプラザ&睦ハイム合同祭(堀睦福祉まつり)	①地域	19274	地活	19274	0	0	0	0	19274
	②657名		包括						
	③0円		生活						
子育て広場	①地域	17947	地活	17947	0	0	10000	7515	432
	②269人		包括						
	③0円		生活						
囲碁クラブ	①地域	3759	地活	3759	0	0	0	3759	0
	②20人		包括						
	③0円		生活						
初めての囲碁入門講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10人		包括						
	③0円		生活						
障がい理解講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②60人		包括						
	③0円		生活						
いきいきシニア塾	①地域	60164	地活	60164	0	0	60000	0	164
	②360人		包括						
	③0円		生活						
障がいのある方と地域の交流事業	①地域	10000	地活	10000	0	0	10000	0	0
	②144人		包括						
	③0円		生活						
食育講座みそづくり	①地域の親子	12971	地活	3171	9800	0	0	12390	581
	②20人		包括						
	③700円		生活						
大人の脳トレ講座	①主に高齢者	5084	地活	5084	0	0	0	2984	2100
	②150人		包括						
	③0円		生活						
むつみ健康麻雀	①主に高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②100人		包括						
	③0円		生活						
非常食の工夫講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②20人		包括						
	③0円		生活						
子ども新年会	①地域の子ども	4950	地活	3550	0	1400	1500	1350	2100
	②100人		包括						
	③0円		生活						
わいわい食堂	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②600人		包括						
	③0円		生活						
レッツエンジョイ	①地域障害児	3212	地活	2279	0	933	0	0	3212
	②100人		包括						
	③0円		生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

むつみ歌声広場	①高齢者	60000	地活	60000	0	0	60000	0	0
	②300人		包括						
	③0円		生活						
コーヒーの淹れ方講座	①主に高齢者	10619	地活	10619	0	0		6668	3951
	②20人		包括						
	③0円		生活						
骨盤底筋体操	①産後の母親	49412	地活	49412	0	0	49000	0	412
	②60人		包括						
	③0円		生活						
横浜子ども市場食堂	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②360人		包括						
	③0円		生活						
エコリサイクル推進活動	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②80人		包括						
	③0円		生活						
		394738		354155	37950	2633	298000	63679	33059

平成30年度 自主事業収支報告書

睦地域ケアプラザ

【地域包括支援センター運営事業】

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケアマネジャー連絡会	①ケアマネジャー	20,000	地活	20000	0		0	0	20000
	②50名		包括						
	③なし		生活						
老後の備え講座	①ケアマネジャー	10,000	地活	10000	0		0	0	10000
	②30名		包括						
	③なし		生活						
介護者のつどい (介護技術講座)	①地域住民他	40000	地活	40000	0		40000	0	0
	②30名		包括						
	③なし		生活						
地域ケア会議	①地域住民他	6000	地活	6000	0		0	0	6000
	②60名		包括						
	③なし		生活						
こんにちはケアプラザ	①地域住民	5000	地活	5000	0		0	0	5000
	②80名		包括						
	③なし		生活						
認知症講演会	①地域住民他	37894	地活	37894	0		0	0	37894
	②120名		包括						
	③なし		生活						
お医者さんの話を聞こう	①地域住民	0	地活	0	0		0	0	0
	②30名		包括						
	③なし		生活						
介護保険講座	①地域住民	0	地活	0	0		0	0	0
	②30名		包括						
	③なし		生活						
		118894		118894		0	40000	0	78894

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

睦地域ケアプラザ

【生活支援体制整備事業】

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
「スマイルの会」	①地域	36726	地活						
	②20名		包括						
	③なし		生活	36726	0	0	0	0	36726
こども新年会	①地域	3500	地活						
	②100名		包括						
	③なし		生活	3500	0	0	0	0	3500
男性の料理教室	①地域	81503	地活						
	②30名		包括						
	③なし		生活	63753	17750	0	52500	29003	0
睦オレンジ	①地域	0	地活						
	②10名		包括						
	③なし		生活	0	0	0	0	0	0
		121729		103979	17750	0	52500	29003	40226

事業ごとに別紙に記載してください。